水泳指導安全管理マニュアル

１．児童の安全管理について

・事前に児童の健康状態を把握する。

① 定期健康診断の結果を活用する。

② 健康調査を実施して状態を把握する。

③ 配慮を要する児童への対応をする。

２．施設設備について

・プール使用前の排（環）水口や浄化装置等の状態を把握する。

① プール排（環）水口施設の点検（鉄蓋のネジ、ビス、ボルト等の状態）をする。

② 浄化装置の運転をマニュアルにしたがって適切な操作をする。

③ プール周辺の整理・整頓、清掃をする。

④ プールの付属施設の点検（シャワー、目洗い場、見学用テント等）をする。

⑤ プール日誌を備え、点検する。

３．水泳指導について

・水泳指導中の安全を確保するために、プールの構造や付属施設、設備の特色等を十分把握するとともに、実技指導にも注意を払う。

① 入水できる水温と気温を確認する。

② 準備運動や整理体操をする。

③ プールから上がった時、人員点呼をとる。

④ 入水時間に応じた休憩を確保する。

⑤ 監視の業務を行う。

⑥ プール日誌（水温・気温・残留塩素・PH・透明度目視確認等の測定）を記入する。

４．救助方法と応急手当について

・普段から水の事故に関心を持ち、救助の技術を身に付ける研修をもつ。

・心肺蘇生法等の実技研修（AEDの使い方等）を実施する。

<水泳指導時における緊急対応体制>

施設管理面

Ｉ．授業担当者、または指導者が以下の項目について点検し、点検結果を記録する。

排（環）水口の蓋等がネジ、ボルト等で堅固に固定されている。

排（環）水口の吸引防止金具等が破損等がなく、適切に設置されている。

２．プール使用中に異常を発見したときの措置

排（環）水口等がはずれたりした状態を発見したとき、ただちにプール使用を中止する。

吸い込み事故等が発生した時は、ただちにろ過装置の運転を中止する。

⇒他の教師に連絡⇒職員室（養護教諭・教頭・校長）に連絡⇒医療機関・保護者・教育委員会等に連絡・報告

安全管理面

Ｉ．プールを使用する時は、３名以上の指導者を配置する。

使用時指導者がプールの中側からと外側からの双方から児童の安全を確認すること。

２．水質検査を行うとともに、児童に十分な準備運動をさせる等使用上の注意を喚起する。

児童の事故発生時は、他の教師等に至急連絡し、適切な措置を講じる。

３．プール使用中に異常や事故を発見した時の措置

ただちに救護にあたりながら、他の教師に連絡する。また、他の児童の安全も確保する。

⇒職員室（養護教諭・教頭・校長）に連絡⇒医療機関・保護者・教育委員会等に連絡・報告

4．特別活動指導部

委員会活動について

○代表委員
・5年生の各クラスより3名、6年生の各クラスより各4名　　計14
・毎月の委員会の時間に活動する。
・代表委員の任期は他の委員会と同様、半期ごととする。
・必要に応じて適宜代表委員会を開く。

○委員会活動
①目標
校内の仕事を分担して取り組むことにより、学校生活を豊かにする態度・実践力を育てる。
②具体的方策
・5年生以上が委員会活動を行う。
・第1水曜日に各委員会で話し合い活動をする。

委員会活動

委員会名	活　動	担当者
保健	掲示物作り・ポスター作り等・手洗い場の石鹸の点検補充	隅田　横井 藤原　三森
体育	運動用具（縄跳び・一輪車・ビブス等も含む）や運動環境の整備	羽生　森笹 福井　高木
整備・美化	校内清掃整頓の計画実施、清掃指導、清掃用具の保管配置補充	中原　衛藤 濱田
給食	給食時の世話、給食指導の計画と実施	浅野　井上 牧野　木村
図書	図書室の整理、図書の整理、読書の啓発活動（本の紹介）	角崎　服部 河村　河合由
放送	校内放送の計画実施・集会や行事等の放送	三山　瀬尾 河合美
児童会	児童会の行事の計画・実施、児童集会の司会・進行	谷本　武林 和田

クラブ活動
①目標
互いに協力し合い、生き生きとした活動を通して、自主的に実践する態度を育てる。
②具体的方策
・6年生優先で入る。
・前期、後期で分ける。
・原則1年を通して同じクラブには入らない。

クラブ名	担当者名	活動（集合）場所
手芸	服部　藤原	家庭科室
カード・ボードゲーム	中原　羽生	図書室
図工・イラスト	衛藤　木村	図工室
実験	三森　横井	理科室
音楽	河合美　濱田	音楽室
陸上	高木　武林　井上	運動場
バドミントン	角崎　瀬尾　河合由	体育館
卓球	三山　森笹	図工室前廊下
ボールA	谷本　浅野　牧野	運動場
ボールB	福井　和田　河村	体育館

5．環境・安全指導部

令和6年度学校安全計画

項目＼月	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点	通学路を正しく歩こう	安全に休み時間を過ごそう	梅雨時に安全な生活をしよう	自転車のきまりを守ろう	けがをしないように運動しよう	乗り物の乗り降りに気を付けよう	災害に備えた生活をしよう	安全な冬の生活をしよう	災害から身を守ろう	道路標識を守ろう	安全な生活ができるようにしよう
道徳	規則尊重	生命尊重	思いやり・親切	勤勉・努力	明朗・誠実	思いやり・親切	家庭愛	勇気	勤勉・努力	節度・節制	愛校心
安全教育／生活安全／生活	・地域探検時の交通安全 ・移植ごて、スコッ	・野外観察時の交通安全	・公園までの交通安全 ・遊具の使い方	・虫探し、まち探検時の交通安全	・はさみ、カッターナイフの使い方	・たけひご、つまようじの使い方	・社会見学時の安全	・はさみ、ステープラの使い方	・カッター、ナイフの使い方	・ガスコンロの使い方	・移植ごての使い方
安全教育／生活安全／理科	・野外観察時の交通安全 ・アルコールランプ、虫めがね、移植ごての使い方	・カバーガラス、スライドガラス、フラスコの使い方	・スコップ、ナイフの使い方・電気のはたらき	・夜間観察の安全 ・試験管、ビーカーの使い方 ・台風と天気の変化(5年)	・観察中の安全 ・フラスコ、ガラス管の使い方	・太陽観察時の注意	・ポリ袋、ゴム風船の使い方 ・地震による土地の変化(6年) ・鏡、凸レンズの使い方	・ガラス器具の使い方	・バーナー、蒸発皿の使い方	・針金、プラスチックの使い方	・塩酸、水酸化ナトリウムの取扱い方
安全教育／生活安全／社会		自然条件とくらし(5年)			火事から身を守る（3年）	事件や事故から身を守る(3年)			自然災害を防ぐ(5年)		生活と環境(5年)
安全教育／生活安全／図工	・はさみ、カッターナイフ、絵の具、接着剤の安全な使い方	・コンパスの安全な使い方	・のこぎり、小刀、金づち、くぎ抜き、くぎの使い方	・木づち、ゴム、ニスの使い方	・写生場所の安全な選定	・彫刻刀の管理と使い方	・塗料・接着剤の取扱い方	・竹ひご、細木の使い方	・小刀の管理と使い方	・卒業制作作成時の安全	
安全教育／生活安全／家庭	・熱湯の安全な取扱い方 ・ガスコンロの使い方	・針、はさみの使い方	・実習時の安全な服装の選び方 ・包丁の使い方	・食品の取扱い方 ・調理用具・器具の安全な使い方 ・洗たく機の使い方	・ミシンの使い方	・アイロンの使い方	・住宅用洗剤の使い方	・食品の日付表示	・快適な住まい方 ・暖房器具の使い方	・油の安全な取扱い方 ・フライパンの使い方	・調理用具・器具の安全な使い方
安全教育／生活安全／体育	・固定施設の使い方 ・運動の場の安全確認	・マット鉄棒運動時の安全	・水泳前の健康観察 ・水泳時の安全 ・着衣泳		・集団演技、行動時の安全	・跳び箱運動時の安全	・跳躍運動時の安全 ・ボール運動時の安全	・けがの防止(保健)	・持久走時の安全	・ボール運動時の安全	・固定施設利用時の安全
安全教育／生活安全／総合的な学習の時間	防災学習について、「わが町たんけん」（3年）等、安全にかかわる課題を年間活動計画に位置付ける（20～35時間）										
安全教育／交通安全・災害安全／学級活動／低学年	●通学路の確認 ◎安全な登下校 ●安全な給食配膳 ●子ども110番の家	●休み時間の約束 ◎遊び場や行き帰りの安全 ●遠足時の安全	●雨天時の約束 ◎プールの約束	●夏休みの約束 ◎自転車乗車時の約束 ●落雷の危険	●運動時の約束 ◎校庭や屋上の使い方のきまり	◎乗り物の安全な乗り降りの仕方 ●廊下の安全な歩行の仕方	◎災害時の正しい行動の仕方 ●安全な集団行動	●暖房器具の安全な使い方 ◎冬休みの安全な過ごし方	◎「おはしも」の約束 ●安全な服装	◎身近な道路標識 ●雪道の歩き方	●1年間の反省 ◎けがをしないために
安全教育／交通安全・災害安全／学級活動／中学年	●通学路の確認 ●誘拐の起こりやすい場所 ◎安全な登下校 ●安全な清掃活動	●休み時間の安全 ◎子ども110番の家 ●遠足時の安全	●雨天時の安全な過ごし方 ◎安全なプールの利用の仕方	●道路での自転車乗車のきまり ◎夏休みの安全な過ごし方 ●落雷の危険	●運動時の安全な服装 ◎校庭や屋上の安全な使い方	◎電車、バス内での安全な過ごし方 ●校庭での安全な遊び方	◎災害時の正しい行動の仕方 ●安全な集団行動	●暖房器具の安全な使い方 ◎冬休みの安全な過ごし方	●「おはしも」の約束 ◎災害時の安全	◎自転車に関係のある道路標識 ●凍結路の安全な歩き方	●1年間の反省 ◎けがをしやすい時間と場所
安全教育／交通安全・災害安全／学級活動／高学年	●通学路の確認 ◎安全な登下校 ●交通事故から身を守る ◎身の回りの犯罪 ●委員会活動の意義	●休み時間の事故とけが ◎防犯にかかわる人たち ●交通機関利用時の安全	●雨天時の事故とけが ◎救急法、着衣水泳	●自転車の点検と整備の仕方 ◎夏休みの事故と防止策 ●落雷の危険	●運動時の事故とけが ◎校庭や屋上で起こる事故の防止	◎電車、バス乗車時の事故とけが ●校庭の安全点検	◎災害時の正しい行動の仕方 ●安全な集団行動	●暖房器具の安全な使い方 ◎冬休みの事故やけが	●「おはしも」の約束◎災害時の安全・携行品 ●安全な身支度、衣服の調節	◎交通ルールと標識 ●道路凍結時の事故とけが	●1年間の反省 ◎けがの種類と応急処置
安全教育／交通安全・災害安全／児童会活動	・代表委員会 ・前期委員会開始 ・1年生を迎える会	・クラブ活動開始			・運動会準備、運営		・後期委員会開始			・クラブ見学	・6年生を送る会
安全教育／交通安全・災害安全／主な学校行事等	・入学式 ・健康診断 ・春の交通安全運動	・地震避難訓練・引き渡し訓練 ・遠足 ・体力テスト	・プール開き ・不審者避難訓練	・交通安全教室 ・風水害避難訓練	・秋の交通安全運動 ・修学旅行	・運動会	・火災避難訓練	・児童会祭り		・学習発表会	・6年生を送る会 ・卒業式
安全管理／対人管理	・安全な通学の仕方 ・安全のきまりの設定	・固定遊具の安全な使い方	・校舎内での安全な過ごし方 ・プールでの安全のきまりの確認	・自転車乗車時のきまり、点検・整備	・校庭や屋上での安全な過ごし方	・電車、バスの安全な待ち方と乗降の仕方	・安全な避難の仕方	・暖房器具の安全な使い方	・災害時の身の安全の守り方	・道路標識の種類と意味	・1年間の人的管理の評価
安全管理／対物管理	・通学路の安全確認 ・安全点検年間計画の確認	・諸設備の点検、整備	・学校環境の安全点検、整備	・夏季休業前中の校舎内外の点検	・校庭や屋上など校舎外の整備	・駅、バス停周辺の安全確認	・避難経路の確認 ・防災設備の点検、整備	・学校内の危険箇所の点検・整備	・防災用具の点検、整備	・学区内の安全施設の確認	・1年間の学校環境、安全点検の評価
学校安全に関する組織活動	・春の交通安全運動 ・教職員、保護者の街頭指導	・校外における児童の安全行動把握、情報交換 ・地域生活指導情報交換会	・心肺蘇生法講習会 ・地域の危険箇所点検	・国民安全の日（7月1日） ・地域パトロール ・教職員防犯研修会	・秋の交通安全運動の啓発と街頭指導 ・学校安全（保健）委員会 ・国民防災の日(1日)	・地域生活指導情報交換会	・通学路点検	・年末年始の交通安全運動の啓発	・PTA安全（保健）委員会 ・校区防災訓練	・学校安全（保健）委員会	・地域交通安全パトロール

安全指導年間計画

(1) 安全指導

・校内の危険個所の点検、点検日を設定し、点検・報告を行う。

(2) 避難訓練

・1学期：対地震　対不審者　対風水害　　3学期：対火災

(3) 地区児童会・集団下校

・安全に留意して、集団登校・下校させる。

・集団登校について話し合う。

・班長会議をもつ・・・班長の役割を確認する。

・地区児童会にむけての連絡をする。

・全体の問題が生じた時、随時、召集する。

・非常時に備えて、安全に下校する。

年間計画

月	内　　容
4	地区別児童会・集団下校・通学路点検、　避難経路・避難場所掲示確認 待機児童名簿の作成
5	避難訓練（対地震）
6	避難訓練（対不審者）
7	・地区別児童会・集団下校・通学路点検
8	
9	
10	
11	
12	地区別児童会・集団下校・通学路点検
1	避難訓練（対火災）
2	次年度登校班編成
3	地区別児童会・集団下校・通学路点検

・毎学期のはじめに安全点検を行う

6. 保健・給食指導部

給食指導

1. 目標

・楽しく給食時間を過ごし、食べることの大切さを教える。

・食事を通じて、よい人間関係を育てる。・助け合って仕事をする。

(1) 具体的方策

・栄養指導を行う。・食物アレルギーをもつ児童への対応を行う。

(2) 日常的な指導

・手洗いの励行　・マスクの着用
・協力しての配膳　・残さず食べる

2. 年間計画

月	内　容
4	年間指導計画の作成　食数報告　アレルギー対応委員会 おぼんの配布　配膳室の整備　給食目標作成・掲示
5	給食目標作成・掲示
6	給食目標作成・掲示
7	給食目標作成・掲示
8	給食目標作成・掲示 食数報告
9	給食目標作成・掲示
10	給食目標作成・掲示
11	給食目標作成・掲示
12	給食目標作成・掲示　在校生アレルギー面談の案内
1	給食目標作成・掲示 食数報告 在校生アレルギー面談の実施
2	給食目標作成・掲示　在校生アレルギー面談の実施 新1年生アレルギー面談の案内
3	年間反省　おぼんの点検　新1年生アレルギー面談の実施

給食指導について

食前
○石けんで、きれいに手を洗う。
○清潔なナフキンを敷く。
○配膳台をふき、おぼんを洗う。（おぼんは職員室後ろにあります。）
○当番以外は座って待つ。
○全員で「いただきます。」をする。

食事中
○よくかんで食べる。
○好き嫌いなく食べるようにする。
○立ち歩かない。

食後
○全員で「ごちそうさま。」をする。
○きまりを守って食器を返却する。
- 食器、食缶はクラスでまとめて返す。
- 最終返却時刻を過ぎた時は、洗って教室保管する。
- 残菜があれば食缶にもどす。
- しゃもじは小さい食器かごの中に入れる。
- パンばさみ、トング、玉じゃくし、めんじゃくし、ミニお玉、スプーンはお盆などにまとめてのせ、配膳室まで持ってくる。（お盆が汚れるので紙を敷くなどする。）
- おはしは向きをそろえてはしかごに入れる。
- プリンカップ等は重ねて配膳室のごみばこに捨てる。
- 飲みきった牛乳パックは教室で青色の箱に戻す。
- 飲み残した牛乳は蓋をテープで止め銀のカゴへ戻し、配膳室に返却する。
- 牛乳のストローとストロー袋は、教室でビニール袋に入れ、配膳室入り口のゴミ袋に捨てる。まとめてコンテナに入れて、調理場へ返却する。
- おぼんを洗い、配膳台をふく。
- 添加物の袋で汚れている物は燃えるゴミとする。迷ったら燃えるゴミとする。

給食時間帯　配膳　１２：１５～１２：３０
食事・後始末　１２：３０～１３：００
★１２：５５～順次返却。
★最終返却の時刻は、１３：１０

食缶番号
１－１　①　１－２　②　２－１　③　２－２　④　３－１　⑤
３－２　⑥　４－１　⑦　４－２　⑧　５－１　⑨　５－２　⑩
６－１　⑪　６－２　⑫　職員室　⑬

配膳室へ行き方
○エプロン、マスク、ぼうしを身に付けて、教師引率のもと並んでいく。返却する時も教師引率のもと並んでいく。
○配膳室に入る前に「○年○組、○番です。
給食をいただきにきました。」と言う。
○食缶を手渡してもらったら、「ありがとう。」と言う。
○<u>行き帰り共に右側通行</u>

食に関する指導　全体計画

子ども・保護者の実態

食に関する関心はあるが、給食の残菜が学年によって多いところがある。
保護者の健康に対する意識は高い。

地域の実態

本校は落ち着いた環境にあり、保護者の教育への関心も高い。
校区は住宅地が密集しており、自然を体験する場が少ない。
コミュニティ活動も活発で学校に協力的である。

本校のめざす子ども像

○自らを日々成長させようとする子ども
○自ら学び、考え、行動できる子ども
○心豊かで、思いやりのある子ども
○健康でたくましい子ども

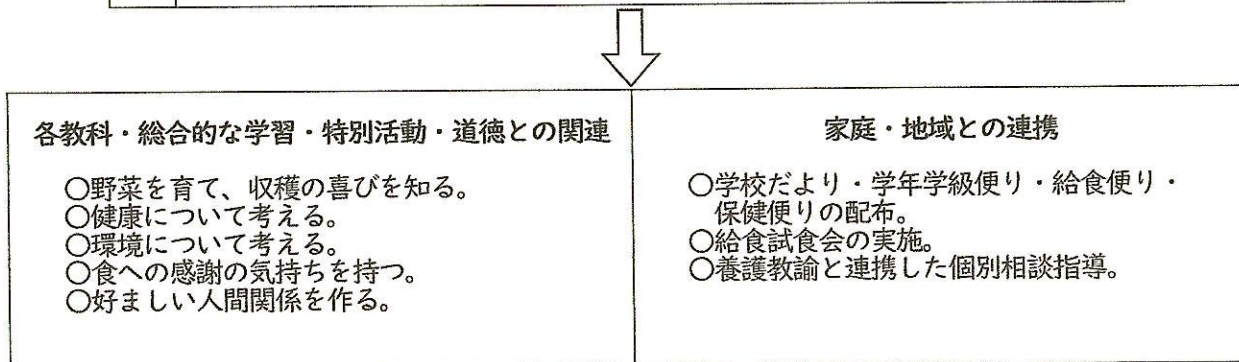
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
食育基本法

食育の目標

生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送ることをめざし、児童一人一人が望ましい食生活の基礎・基本と食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにする。また、楽しい食事や給食活動を通して豊かな心を育成し、社会性を養う。

各学年の発達段階に応じた食に関する指導目標

食に関する指導目標	
低学年	○食べ物を大切にする気持ちを養う。 ○給食ができるまでを知り、残さず食べる意欲を持つ。 ○好き嫌いをしないで食べることができる。 ○食べ物の名前がわかり、仲間分けができる。 ○食べ物は働きにより三つのグループに分けられることを知る。
中学年	○食べ物を三色栄養に分けられる。 ○食品の働きがわかる。 ○おやつ・清涼飲料水による砂糖・塩のとりすぎについて知る。 ○朝ごはんの必要性を理解し、すすんで食べる意欲を持つ。 ○地元でとれる野菜について知る。
高学年	○日常の食事に関心を持ち、バランスのとれた食事の大切さを理解する。 　特に、ファーストフードの食べ過ぎについて注意する気持ちを持つ。 ○おやつによる油のとりすぎについて知る。 ○中学生の時期の栄養の大切さを知る。 ○朝ごはんの必要性を理解し、すすんで食べる意欲を持つ。 ○五大栄養素について知る。

各教科・総合的な学習・特別活動・道徳との関連	家庭・地域との連携
○野菜を育て、収穫の喜びを知る。 ○健康について考える。 ○環境について考える。 ○食への感謝の気持ちを持つ。 ○好ましい人間関係を作る。	○学校だより・学年学級便り・給食便り・ 　保健便りの配布。 ○給食試食会の実施。 ○養護教諭と連携した個別相談指導。

食育年間指導計画

		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
学級活動及び給食時間	低学年	・給食の約束 ・給食を知ろう ・仲良く食べよう	・夏休みの健康 ・食べ物の名前を知る ・楽しく食べよう	・健康な生活習慣 ・食べ物に関心を持つ ・食べ物を大切にする	・風邪の予防 ・食べ物を振り返る ・給食の反省をしよう
	中学年	・給食の約束 ・食品について知る ・給食のきまり	・夏休みの健康 ・季節の食べ物を知る ・食事の環境づくり	・健康な生活習慣 ・食べ物のはたらきを知る ・感謝して食べよう	・風邪の予防 ・食生活を見直そう ・給食の反省をしよう
	高学年	・安全な給食準備 ・食べ物のはたらきを知る ・楽しい給食時間	・夏休みの健康 ・季節の食べ物を知ろう ・食事の環境づくり	・健康な生活習慣 ・バランスのよい食事 ・感謝して食べよう	・成長を振りかえる ・食生活を考えよう ・給食を振りかえろう
地域・家庭との連携		学校だより、給食だより、保健だより、学年だより、給食試食会等を通して、基本的な生活習慣の確立のため、地域・家庭に働きかけ協力を得る。			

教科との関連

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
社会			私たちのまちと市 はたらく人とわたしたちのくらし のうかのしごと	広げてみよう市から県へ	未来を支える食糧生産	戦争と人々の暮らし 平和で豊かな暮らしを目指して
理科			植物を調べよう たねをまこう	季節の生き物	植物の発芽と成長 メダカのたんじょう	ヒトや動物のからだ 生物どうしのつながり
生活	げんきにそだてわたしのはな あきとなかよし 栄養士さんによる食育指導	大きくそだてわたしの野菜 栄養士さんによる食育指導				
総合			食について知ろう	緑のカーテン栽培 育ちゆく体と心	米作りをしよう	成長する心と体
体育			健康な生活	体の発育・発達	心の健康	病気の予防

学校保健年間計画

自分の心や体の状態を知り、望ましい生活習慣を身につけ、自ら判断して健康な生活を実践できる児童の育成

		4月	5月	6月	7月・8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保健的行事		二測定 保健教育 視力検査 内科検診　結核検診 運動器検診 12誘導心電図検査 検尿1次 保健委員会活動 食物アレルギー対応委員会	内科検診　結核検診 運動器検診 聴力検査 歯科検診 12誘導心電図検査 検尿2次 検尿3次 保健委員会活動	耳鼻科検診 心臓二次検診 ブラッシング指導 色覚検査 プール開き 水泳前の健康調査 保健委員会活動	保健委員会活動	二測定 保健教育 保健委員会活動	視力検査 保健委員会活動	就学時健康診断 修学旅行 保健委員会活動 モアレ撮影検査 学校保健委員会	保健委員会活動	二測定 保健教育 保健委員会活動	保健委員会活動	保健委員会活動 食物アレルギー対応委員会
保健管理	心身・生活の管理	日常の健康観察 保健調査の実施 健康診断によるスクリーニング及び事後措置 学校感染症についての確認 校内救急体制の確認 欠席調べ	日常の健康観察 健康診断によるスクリーニング及び事後措置 林間学舎前の健康調査 欠席調べ	日常の健康観察 健康診断によるスクリーニング及び事後措置 健康診断の結果の把握 水泳前の健康調査 欠席調べ	日常の健康観察 水泳指導の健康観察 欠席調べ	日常の健康観察 運動会の救急体制の確認 欠席調べ	日常の健康観察 視力検査の事後措置 修学旅行前の健康調査 欠席調べ	日常の健康観察 冬の食中毒の予防 かぜ・インフルエンザの早期発見と予防 欠席調べ	日常の健康観察 冬の食中毒の予防 かぜ・インフルエンザの早期発見と予防 欠席調べ	日常の健康観察 冬の食中毒の予防 かぜとインフルエンザの早期発見と予防 マラソン前の健康調査 欠席調べ	日常の健康観察 冬の食中毒の予防 かぜ・インフルエンザの早期発見と予防 欠席調べ	日常の健康観察 1年間の保健管理状況の反省 欠席調べ
	環境・衛生の管理	机・いすの調節 保健室の整備 清掃分担・用具の配布 大掃除 安全点検	安全点検	プール清掃 プール水質検査 水道水の水質検査 安全点検	大掃除 安全点検	運動会用具・運動場の整備 草取り 石拾い 安全点検	安全点検	安全点検 教室の換気	大掃除 教室の換気 安全点検	大掃除 教室の換気 安全点検	教室の換気 安全点検	大掃除 教室の換気 安全点検
保健教育	保健目標	自分の体を知ろう	自分の健康状態を知ろう	歯や口の中の健康に気をつけよう	夏を健康に過ごそう 熱中症を予防しよう	けがの予防と応急手当を知ろう	目を大切にしよう	きそく正しい生活を送ろう	心の健康状態を知ろう	かぜ・インフルエンザを予防しよう	よい姿勢を身につけよう	1年の生活を振り返ろう
	特別活動	保健室について 健康診断の目的と受け方	キャンプ前の初経指導	歯や口の中の健康について プールに入るときの注意 汗のしまつと清潔	汗のしまつと清潔 夏休みの健康	けがの予防と応急手当	目の健康 修学旅行前の初経指導	衣服の調節 規則正しい生活 かぜの症状や予防方法について	心と体の健康について かぜ・インフルエンザの予防 やけどの予防と手当て	かぜ・インフルエンザの予防 冬の食中毒の予防 やけどの予防と手当て たばこ・薬物乱用防止教育	よい姿勢について 手洗い・うがいの励行 冬の食中毒の予防 やけどの予防と手当て	1年の生活を振り返ろう 耳の健康
	教科等						5年「心の健康」	5年「心の健康」 6年「病気の予防」	4年「体の発育・発達」 5年「心の健康」 6年「病気の予防」	3年「健康な生活」 4年「体の発育・発達」 5年「けがの予防」 6年「病気の予防」	3年「健康な生活」 4年「体の発育・発達」 5年「けがの予防」 6年「病気の予防」	3年「健康な生活」 4年「体の発育・発達」
性教育		別途提案										

性教育指導計画

	１　年	２　年	３　年	４　年	５　年	６　年
テーマ	からだのちがい からだをきれいに	おへそのひみつ	男の子・女の子 赤ちゃんたん生	育ちゆく体とわたし	からだの発達 おとなに近づくからだ	生命の誕生 健康な生活
目標	男女の体の違いについて気づかせ、性器、排泄器を清潔にすることの大切さを理解させる。 上手な用便後の始末の仕方を指導する。 プライベートゾーンについて理解させる。	母親の体内で、へその緒を通して栄養や酸素をもらって、育ち生まれてきたことを知る。 命の大切さを理解させる。	男女の違いを認め合い、新しい生命を生みだす器官として今から備わっていることを理解させる。 出産などの様子を知り、その時の家族の思いや、家族の協力について知る。	子どもと大人の体を比較することにより、成長するにつれだんだんと大人の体になっていくことを理解させる。 体の成長には個人差があることを知る。 お互いのよさを認め合い自分を大切にする。 異性への関心の芽生えに気づき、男女互いに理解し、協力する態度を養う。	二次性徴の変化が現れて、だれもが大人の体に近づいていくことを理解させる。 男の子、女の子の体の発達の様子を知り、お互いへの思いやりの心を育てる。	思春期の心と体の変化について理解を深め、お互いの人格を尊重して生きることの大切さを知る。 健康な生活とはどんなものかを知る。 エイズについて正しい知識を養う。 LGBTQ について理解を深める。
具体的内容	・男の子、女の子のちがい ・からだのちがうわけ ・からだの各部の名称を知る ・からだをきれいにする方法 ・正しいトイレの使い方、入浴について ・プライベートゾーンについて	・おへそのある動物、ない動物 ・おへそのはたらき ・いのちのはじまり ・命の誕生について知り、自分や友達の生命を大切にできるようにする。 ・性被害や誘拐のおそろしさを知る。	・男の子、女の子の体の違い ・体の中のしくみ ・出産のしくみ	・大人の体の特徴を知る（体の中・外の変化） ・自分の体の変化 ・成長には個人差があることを知る。	・男の子、女の子の性の決定 ・性器の働きを知る ・キャンプに向けて女子への月経指導 ・男の子、女の子の体の変化と成長に伴う不安や、悩み ・心の発達、心の変化	・性への関心 ・感染症（エイズ・インフルエンザなど）について知り、偏見・差別をなくし、ともに生きる姿勢を持つ。 ・修学旅行に向けて女子への月経指導 ・タバコ・アルコール・薬物の害について知る。 ・LGBTQ について